

～女子栄養大学 香友会新潟県支部 講演会～

「がん治療を支える栄養療法」

一生のうち、2人に1人が罹患するがん。栄養状態が、がん患者さんの治療や生活の質に影響を及ぼすことが報告されています。ここ10年ほど、診療報酬改定のたびに、がん分野における栄養士の活動が評価され、私たち管理栄養士への期待の高まりを感じています。がん栄養管理は、がん種、治療方法、治療経過によって大きく異なります。

がんが進行してくると栄養状態改善よりも苦痛を除くことやスピリチュアルなサポートが優先されることもあります。地域がん診療連携拠点病院での日々の取り組みを含め、がん治療を支える栄養療法についてお話させていただきます。みなさまからも、栄養士として、また身近にがん患者さんがいる方にはサポートする立場からも、いろいろなご意見をうかがえることを楽しみにしております。

【日時】令和5年7月2日(日) 14:00～15:30(受付13:45～)

【場所】新潟市万代市民会館(新潟市中央区東万代町9-1 Tel:025-246-7711)

【講師】曾根 あずさ 氏

(新潟大学医歯学総合病院 栄養管理部 *がん病態栄養専門管理栄養士)

【対象者】興味のある方はどなたでも

【参加費】500円(学生は無料)【申込期間】令和5年6月16日(金)

(曾根 あずさ 氏 略歴)

山梨県生まれ。女子栄養大学栄養学専攻修士課程修了。
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院を経て、2012年から
新潟大学医歯学総合病院勤務。

日本病態栄養学会 がん病態栄養専門管理栄養士
がん病態栄養専門管理栄養士研修指導師



***がん病態栄養専門管理栄養士とは**

(公益社団法人 日本栄養士会IPより)

高度な知識と技術を習得し、栄養に関する専門職として、よりがんの特化した管理栄養士です。

【お申し込み&お問合せ】女子栄養大学 香友会新潟県支部

Email:miyo_canon2016@yahoo.co.jp 担当:長谷川美代